

プログラムスケジュール

第1日目 10月28日(土)

9:30~10:00 (受付) セレストホール

10:00~10:05 (開会挨拶) 山火 正則 (神奈川大学長)

10:05~10:20 (主催者挨拶) 福田 アジオ (神奈川大学教授・COE 拠点リーダー)

10:20~12:00

セッションⅠ 非文字資料をめぐる方法論的諸問題

< コーディネーター >

・的場 昭弘 (神奈川大学教授・COE 事業推進担当者)

< パネリスト >

・リュ アラン＝マルク (フランス、リヨン第3大学教授)

デジタル人類学—バーチャル博物館としてのインターネット—

・的場 昭弘

非文字資料はいかに認識されるか—知覚をめぐる哲学的諸問題—

< コメンテーター・司会 >

・橋川 俊忠 (神奈川大学教授・COE 事業推進担当者)

13:30~15:30

セッションⅡ 画像のなかの暮らしと文化—日本と東アジアの近世—

< コーディネーター >

・金 貞我 (神奈川大学 COE 教員)

< パネリスト >

・福田 アジオ

生活絵引編纂の世界的意義

・田島 佳也 (神奈川大学教授・COE 事業推進担当者)

『日本近世生活絵引』作成に向けての試み—土屋又三郎『農業図絵』を題材にして—

・王 正華 (台湾、中央研究院近代史研究所助研究員)

17・18世紀中国における都市図、都市文化と風俗画の興隆

・金 貞我

韓国・朝鮮編の生活絵引編纂と画像資料—「平壤監司饗宴図」を例にして—

< 司会 >

・西 和夫 (神奈川大学教授・COE 事業推進担当者)

16:00~16:55

< コメンテーター >

・モスター ジョシュア (カナダ、ブリティッシュコロンビア大学教授)

・トレーデ メラニー (ドイツ、ハイデルベルグ大学教授)

16:55~17:00 (閉会挨拶)

第2日目 10月29日(日)

9:30~10:00 (受付) セレストホール

10:00~12:00

セッションⅢ 犁の形態比較から東アジアの民族移動に迫る

<コーディネーター・司会>

・河野 通明 (神奈川大学教授・COE 事業推進担当者)

<パネリスト>

・渡部 武 (東海大学教授)

中国の伝統犁とその技術移転

・金 光彦 (韓国、仁荷大学校名誉教授)

韓国の犁の形態と地域的特徴

・河野 通明

日本の犁に見られる朝鮮系・中国系とその混血型

<コメンテーター>

・尹 紹亭 (中国、雲南大学教授)

13:30~15:30

セッションⅣ 景観・空間編成分析における資料としての写真の可能性

<コーディネーター・司会>

・八久保 厚志 (神奈川大学助教授・COE 共同研究員)

<パネリスト>

・藤永 豪 (佐賀大学講師・2003~2005年度神奈川大学COE 研究員(PD))

景観分析における資料としての写真の可能性

・浜田 弘明 (桜美林大学助教授・神奈川大学COE 教員)

景観研究資料としての「渋沢フィルム」の今日的意義—韓国南部を例に—

<コメンテーター>

・鄭 美愛 (平成国際大学非常勤講師)

・奥野 志偉 (神戸流通科学大学教授)

15:45~17:25

総合討論

<司会>

・北原 糸子 (神奈川大学非常勤講師・COE 事業推進担当者)

<パネリスト>

・的場 昭弘

・金 貞我

・河野 通明

・八久保 厚志

17:25~17:30 (閉会挨拶)